



3年、4年生が県内6カ所・7事業所

## 企業見学を実施

学生の自己実現を支援するキャリアデザイン教育の一環として、7月18日(水)に3、4年生がクラスごとに県内6カ所・7事業所を訪問し、工場などを見学した。

企業見学を行うことで、科学技術の進歩発展を理解し、科学技術発展に貢献していこうとする態度の育成につなげる。また、学生にとって授業に関連する内容と実際の現場との有機的な関連を理解させて興味関心を深めることを目的としている。

クラス	見学先
T3	北陸電力(株)：七尾大田火力発電所
M3	航空自衛隊：小松基地
G3	高桑美術印刷(株)：川北事業部
T4	(株)別川製作所
M4	高松機械工業(株)
G4	(株)富士通ITプロダクツ、(株)PFU

見学当日は猛暑に見舞われたが、学生は、各見学先で、概要説明、工場見学等さまざまな経験を通じて、ものづくりに関わる人々の作業風景を肌で感じることができ、心に残る有意義な一日を過ごした。

北陸電力・七尾大田火力発電所を訪れた電気電子工学科3年生は、はじめに電気全般や火力発電の仕組みについて説明を受けた後、構内を見学した。発電機を回す巨大な蒸気タービンがあるタービン建屋や中央制御室、ボイラー建屋など、主要設備がある建物を中心に、発電の現場を見学した。

学生は、普段当たり前のように使っている電力が作られるためには、非常に多くの工程が必要であることを実感した。巨大なモジュールを製作するにあたって様々な精密な工程を用いて多くの時間を費やし、一つの製品がようやく製造されると聞き、想像以上に洗練された技術が使用されていることに感動していた。職人的な技術の一つひとつがつながり合わさり巨大な部品が製作され、そこから更に多くの部品をつなぎ合わせてシステムが構築される。一つの製品を製作するためには精密な技術をたくさんつなぎ合わせていくことで、巨大なシステムを構築するというのは、まさに技術の結晶が詰まっていると感じたようである。実際にこのような大規模な工場での作業を目にすることは滅多にできることではないので、今回の企業見学により、自分自身のものづくりに対する考えに感銘を受け、非常に参考になった。

高松機械工業の工場の中は、作っているモノのサイズと比べて働いている作業員の方が少なく、また作業の騒音もあまりしないことを感じて、製造業でも自動化が進んでいるということを改めて認識した。また、工場内の器具や台車などが白線に沿ってきれいに並んでいたことを見て、やはり整理整頓は安全性の維持のために欠かせないことであるということを実感したようである。

学生は、ものづくりの現場や活動拠点で、最先端の施設や機器を間近に目にすることで、ふだんの授業内容との関連を理解し、関心を深めながら、将来設計の参考としていた。



高松機械工業の玄関前ホールで記念撮影に納まる機械工学科4年生たち